

アビリンピックおおいた2024

ビルクリーニング競技課題

◎ 一般的な注意事項

【共通事項】

1. 課題には制限時間が設けられています。

課題は、終了まで実施していただきますが、実施時間により点数が付きます。

2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。

3. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の5つの面から審査し、加算方式によって行われます。

4. 作業に適した服装をしてください。

5. 作業開始の指示は、審査員が行います。

6. 作業ごとに入退室を行う場合には、軽く挨拶や礼をしてください。

7. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。

◎ 課題 弾性床清掃及び机上清掃

【注意事項】

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画します。

2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。

3. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。

4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。

5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。

6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。

7. 床のゴミは「おがくず」とし50ml程度を撒いたものとします。

8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。

9. 作業場所にある机は移動させないでください。

10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

使用機材一覧表

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラージ(モップ房)	260g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30 cm幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 cm	1 枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	
タオル	無地 水拭き用(青色)1 枚 から拭き用(白色)1 枚	2 枚	
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1 枚	
ビニール袋	ゴミ袋用替袋	1 枚	
イス	回転いす	1 脚	

競技者が準備するもの

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
作業着(上・下)		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	

(注意) 持参する物は、上記の物に限るが、同一種類の物を予備として持参することは差支えない。

課題 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間 10 分）

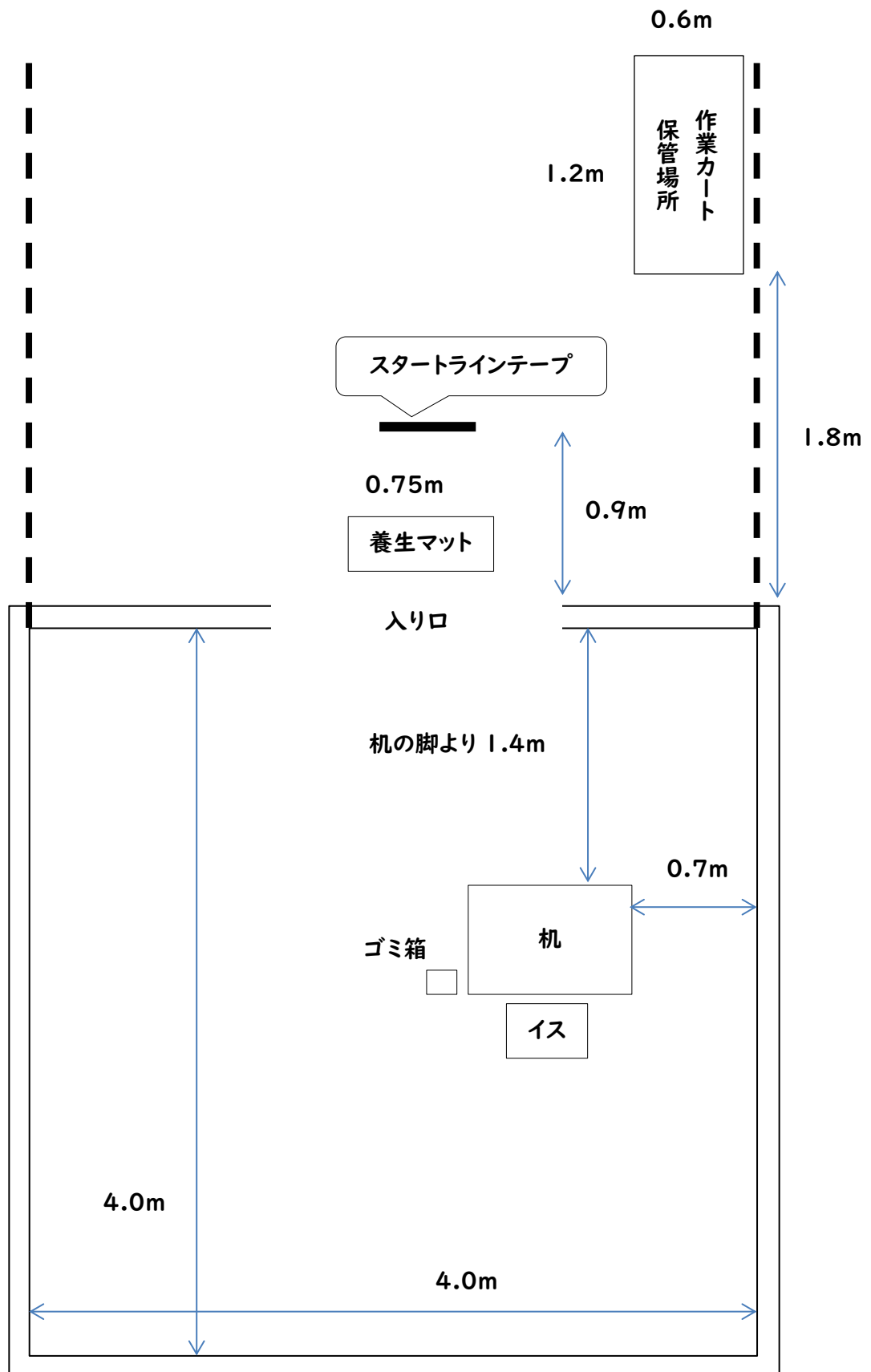
作業仕様 1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 （必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと） ①柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③①、②は事前に準備する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ②作業標示板を立てる。	所定の位置に作業標示板を立てる。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミ回収 (3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上にあげる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かって1箇所集める。 ④ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスをヘッドから外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたごみを取る。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	・ゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドの辺は広いほうを先行させる（赤印をつけてある）。 ・ヘッドを床から離さない。 ・使用済みのクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。 ・ヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。	ゴミはおがくずを50ml程度均等に撒いている。 点検の際に声を出さないこと。

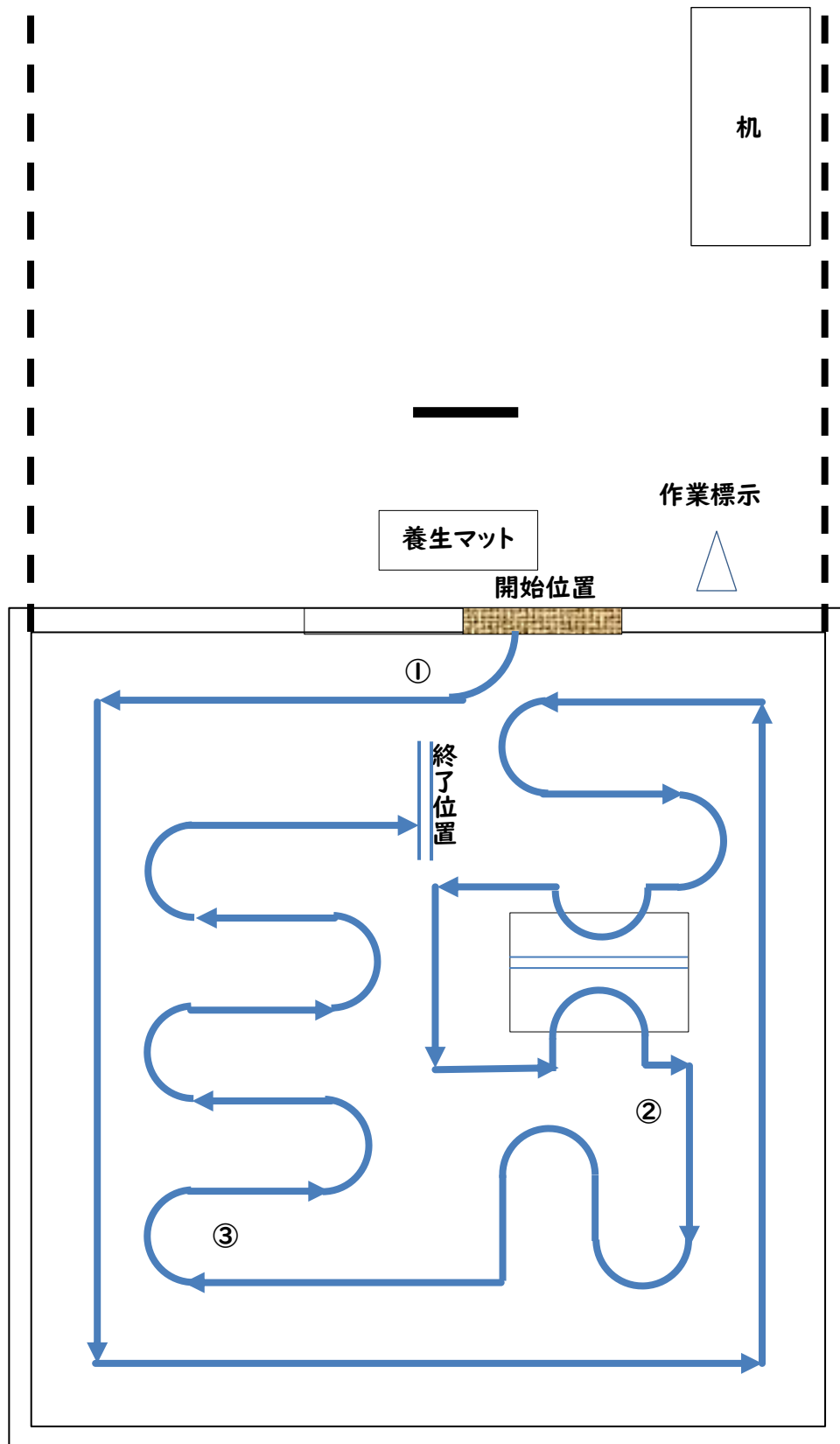
作業仕様 1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備 考
水拭き(モップ)	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとお机の足元は房系に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下す	安全に音を立てないように下す。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折りにして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	

作業区画標準配置図 (モデル)

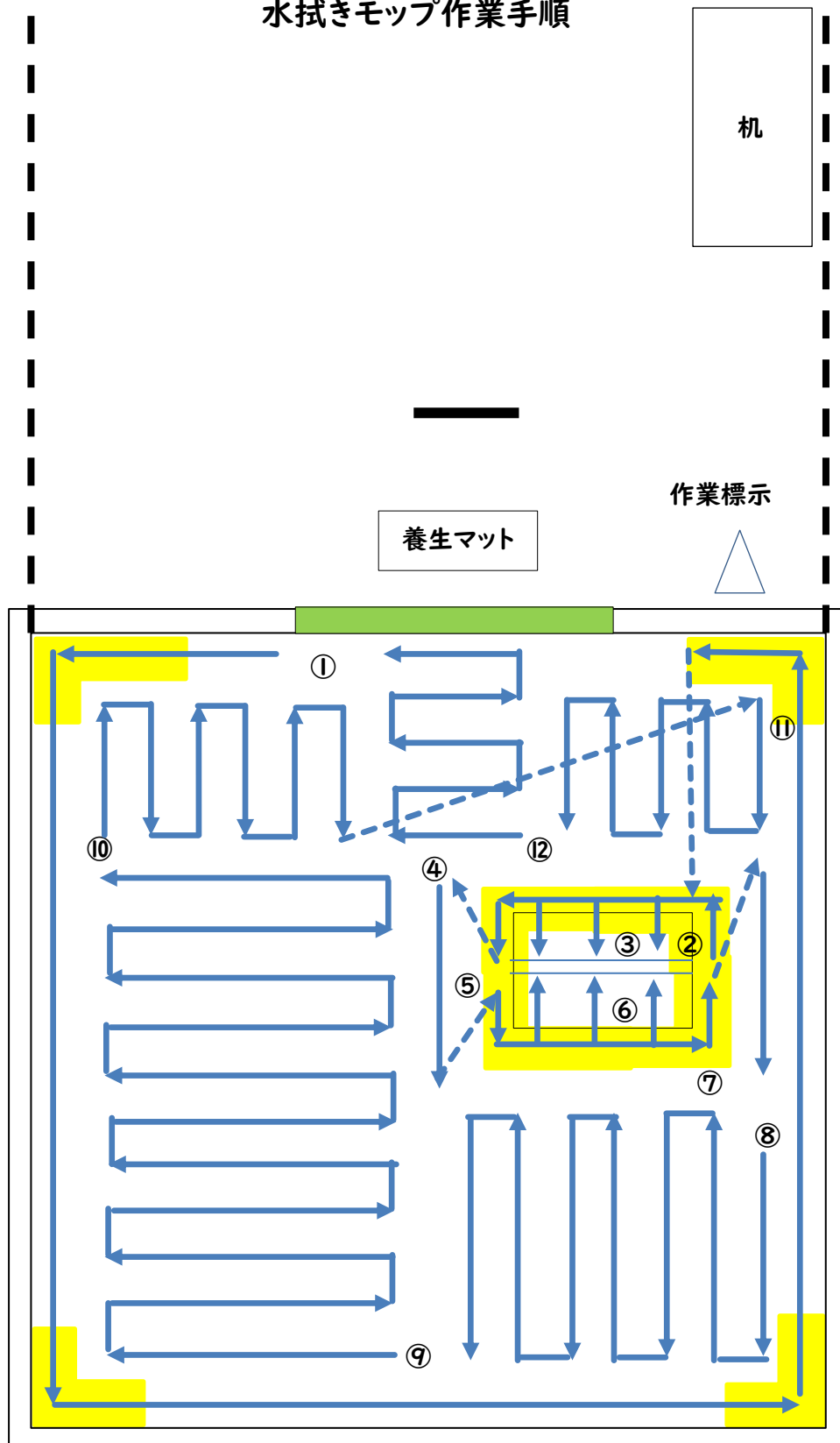


乾式モップ作業手順



(注) 乾式モップのヘッドの振る回数ではありません。

水拭きモップ作業手順



(注) 網掛け部分は手を添える個所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

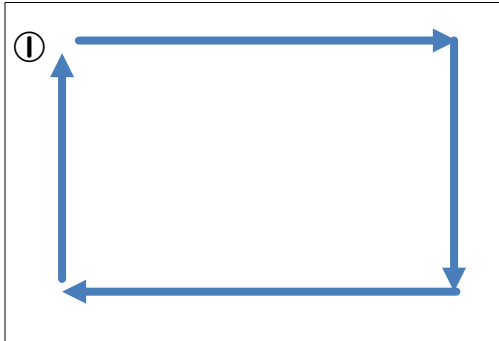
①幅木側を一周すること(コーナーには手を添えます)

②・③机の脚周りを拭き、机の下を拭くこと。(脚回りについては手を添えること)

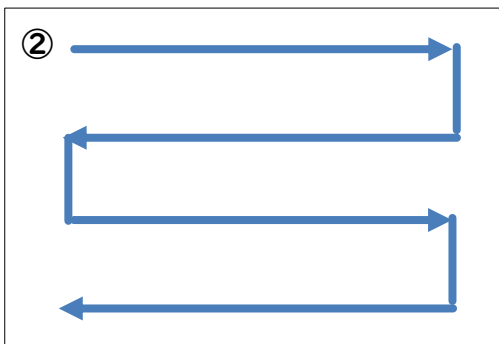
⑤・⑥机の反対側に回り、②・③と同様に拭く。

⑧～⑩スパンを決めて拭き上げる。 7

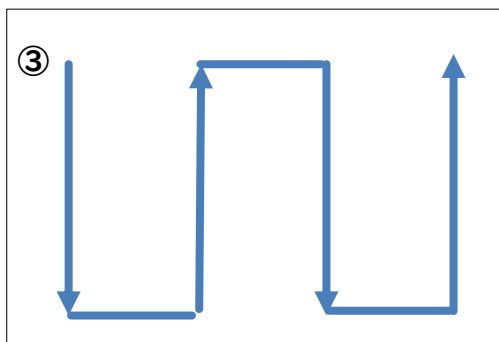
机上拭き作業手順



- ①四角く、縁に沿って拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます)



- ②横拭き:拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きむらの無いように注意します。
また、左右の動きにより往復の回数が異なります。)



- ③縦拭き:拭き残しが無いように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きむらの無いように注意します。
また、上下の動きにより往復の回数は異なります。)

(注) 作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。
左手で持つ人の場合は、左右を逆にして構いません。